

各都市計画道路の進捗 具体的内容と予算・決算額

都市安全部 道路建設課
道路政策課

【市事業】

1 荒地西山線（予算額：971,487,300円 決算額：597,575,000円）

- ・令和3年度は、阪急電鉄今津線の西側において、本線トンネル区間のボックスカルバート工事（L=100m）を完成させるとともに、その前後の本線掘割区間の擁壁築造工事（L=87m）に着手し、一部が完成した。
- ・令和4年度は、令和3年度から継続している本線掘割区間の擁壁築造工事を11月末に完成予定としており、引き続き本線残りの擁壁築造工事を一括施工し、本線大型構造物を令和6年3月末に完成させる予定としている。
- ・令和6、7年度に南北の側道や歩道工事、令和8年度で本線の舗装や道路附属物の仕上げ工事などを切れ目なく行い、事業認可期間内の令和8年度未完了を目指している。

2 競馬場高丸線（予算額：452,824,343円 決算額：384,806,568円）

- ・令和3年度は、鹿塩工区における用地取得（3件 559㎡（うち1件 99㎡が残金のみ））、仁川宮西町工区における用地取得（5件 839㎡）、及びそれに伴う物件調査業務等を実施した。
- ・事業面積あたりの取得率は、鹿塩工区が14%、仁川宮西町工区が84%となっている。（市土地開発公社取得分を除く）
- ・仁川宮西町工区においては、令和4年度から工事着手するための道路詳細設計を実施した。（阪急電鉄今津線立体交差点を除く）
- ・今後も、引き続き用地取得を進めるとともに、令和4年度から工事着手した仁川宮西町工区の道路整備を進め、令和6年度からの阪急電鉄今津線の立体交差工事着手を目指している。

【県事業】 ※以下の予算決算額は市負担金分を記載する。

1 尼崎宝塚線（予算額：216,141,000円 決算額：216,140,500円）

- ・4車線化及び宝塚インターONランプの立体交差化により渋滞交差点解消プログラム対象箇所である小浜南交差点、福祉センター前交差点の渋滞解消と電線共同溝整備による無電柱化により緊急輸送道路に指定されている尼崎宝塚線の防災機能の強化を目的に事業を進めている。

- ・令和3年度は、事業主体である県において、電線共同溝及び歩道整備工事等(L=160m)、宝塚インターチェンジに接続する立体交差化工事等が実施された。
- ・令和4年度は、引き続き渋滞解消を図る4車線化に伴う工事及び立体交差化工事等を進め、令和5年度の完了、供用を目指しているとのこと。

2 中筋伊丹線（予算額：2,620,000円 決算額：2,620,000円）

- ・4車線化により渋滞交差点解消プログラム対象箇所である中筋2丁目交差点の渋滞解消により市内道路ネットワークの南北方向における主動線の整備を目的に事業を進めている。
- ・令和3年度は、事業主体である県において、道路容量を確保するための4車線化や当該地域の渋滞解消を図るための交差点改良の道路設計を令和2年度に引き続いて実施された。
- ・令和4年度は、この道路設計を基に関係機関と協議し、令和5、6年度にて、地元説明や都市計画変更を行った上で、令和7年度の事業着手を目指しているとのこと。